

## 未来サミット閣僚級準備会合 大臣スピーチ骨子

### 【冒頭（総論）】

- 本年、SDGsの折り返し地点に、我々はSDGs達成のための意思を確認するためにニューヨークに集いました。
- 新型コロナ、紛争、エネルギーと食糧の危機、気候変動といった深刻な課題が複合的に絡み合う中、特に脆弱な立場におかれた人々の生活や安全が脅威にさらされています。
- 今こそ、多国間主義を強化すべきです。日本は未来サミットに積極的に取り組んでいきます。

### 【各論】

- 「我々のコモンアジェンダ」に沿って、三点だけ述べたいと思います。

#### （1）未来世代

- 若者や未来世代は、世界を形作る主役です。地球規模課題の解決を自らの課題として取り込む、新しい価値観やライフスタイルを持った世代が育つ環境を我々は提供しなければなりません。そのために、我々は、「人間の尊厳」を守り、強化するために結束しなければなりません。

#### （2）より強固な多国間システム

- 国連総会は多様性を尊重する多国間主義を具現しています。我々は国連総会を強化する取組を継続しなければなりません。

- また、安保理が今日の世界の現実を反映するよう、常任・非常任理事国の両議席を拡大させるため、途上国を含めた幅広いパートナーシップを形成しなければなりません。
- 日本は、拒否権行使の抑制、理事国以外の加盟国による安保理へのアクセス向上、安保理の透明性向上に向けて、リーダーシップをとっていきます。

### (3) 法の支配

- 政治家としてのキャリアを通じ、私は、法の支配の重要性を強調してきました。
- 国際法が尊重されて初めて、平和と安全、人権、開発という国連の三本柱が達成可能なのです。
- ロシアは、関連する総会決議を尊重し、暫定措置に関する国際司法裁判所（ICJ）の命令を遵守して、ウクライナから直ちに無条件で軍を撤退させなければなりません。

### 【結語】

- 未来世代のために「人間の尊厳」を守るべく、我々は協力できるし、しなければならないことを述べて、スピーチを終わります。